

令和 5 年 7 月 7 日

長野県知事 様

令和 5 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 4 年度から 令和 7 年度	
会社名	原田建設	
住所	〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高105	
代表者名	丸山 茂	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署		
担当者名	藤巻 吉文	
連絡先	T E L	0263-82-2336
	F A X	0263-82-6080
	電子メールアドレス	harada-y.m@po.mcci.or.jp
ホームページアドレス	http://www.	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

本年度も引き続き、産業廃棄物の発生抑制を重点項目に置き、現場毎に産業廃棄物の管理設定をするとともに、それを達成するための計画を施工前に策定する。

産業廃棄物 3 R (減量化・適正処理) 実践協定の目的を理解し、取り組みを通じて社員の意思の向上をはかり、情報公開を徹底することで地域住民への周知・信頼確保に努める。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	5 年度目標値	4 年度実績値	3 年度実績値	2 年度実績値
総排出量の推移 (t kg・m ³)	100	131.75	243.67	210.40
リサイクル量の推移 (t kg・m ³)	100	130.05	243.67	210.40
売上高の推移 (円)	90,000,000	44,200,000	55,700,000	128,900,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

工場内での加工・組立を多くし、現場での産業廃棄物発生が抑制されるように、設計の段階での研究・推進に取り組む。

木材廃棄物は分別・整理をして、工事の仮設材等に再利用できるように工夫をし、リサイクルの促進に取り組む。

保有資材を常に把握し、工事看板・木材廃棄物等の再利用に取り組む。

周辺住民への情報開示及び意見を聴収し、環境に配慮した工法検討を随時行う。

工事現場においても、現場で発生する端材や梱包材などは、現場での分別処理を徹底し、3Rを推進する。

社内においても、紙類・廃プラスチック類の減量及び分別処理を徹底し、再利用できるように努める。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度目標値	令和4年度実績値	令和3年度実績値	令和2年度実績値
アスファルト合材	100	100	45	45
下層路盤材	100	100	50	50
擬木		100		
全体	100	100	48	48